

諏訪町ゆっと

【諏訪町のこと③】

「白十字ホーム」と化成小学校の子どもさん達の交流が始まったのは、平成3年（20年前）のことです。当時、音楽クラブの生徒を連れ、ホームのお年寄りと音楽を通して交流をしていた先生が、もっと密な人間関係をと願い…一人の老人と4人の生徒が2年間、里孫として交流する活動を始められました。

「老人ホーム」の中で元気な子供たちの声が響き、学校の中を車いすの老人が可愛い子ども達に囲まれていく光景は、素晴らしいものです。

【投稿】

「ゆ」るやかに「つ」ながり「と」もに暮らす、「ゆっと」の考え方に賛成です。忘れられないのは、自治会の班長だったこともあり、ご近所へ声掛けをした、3.11東日本大震災のときです。

初めて経験する大きな揺れと余震、連絡が取れない、電車が動かない、計画停電が良くわからない。かつて経験したことのない災害に直面して、日常生活がままならない不安定な状況のなかで、「ひどい地震でしたね、大丈夫だったですか」「被災地にお知り合いが、いらっしゃいますか」「こんな時ですから、何かお困りのことがあれば、お声を掛けてください」「計画停電予定でしたけど、やりませんでしたね」などなど。ことばを交わすことが、安心感を生むと思いました。何気ない普通の生活ができることの大切さを実感しました。そして今、首都直下型地震の可能性が高いと言われていいます。

被災地の復旧・復興の支援を続けるとともに、諏訪町でも災害に備える準備を、地域で声を掛け合って進めたいと思います。

できない事は無理にやらない、でも、できる事はやってみる。むりなく、楽しく、支え合い。

(諏訪町2丁目 木津 雄造)



【お知らせ】

平成24年1月28日 13時30分～15時30分 社会福祉センターにおいて第3回「諏訪町ゆっと」交流会を開催いたします。当日は、「守ろう あなたの老後のお金」と題し、社会福祉協議会の方に成年後見制度についてお話しいただきます。いつも通り井戸端会議も予定しておりますので、皆様奮ってご参加ください。

【編集後記】

「諏訪町ゆっと」が発足して1年半が経ちました。ゆっとの趣旨である「ご近所の高齢者の方々への目配り・気配り・心配りへの理解が深まり、ゆっと会員さんが増えてきております。新しい年を迎え、さらに私たちが共に安心して暮らし続けることが出来ますように、諏訪町の皆様に「諏訪町ゆっと」への関心を寄せて頂き、この高齢者あんしん見守りネットワークの輪が広がり大きくなっていくことを願っております。今年が本当に良い年でありますように祈念しております。(担当 松村)

【東村山市役所主催の協働連続講座で「諏訪町ゆっと」を発表】

平成23年12月10日 土曜日に東村山市市民協働課主催で協働連続講座が開催され、市民協働課からの依頼を受け、「諏訪町ゆっと」の事例を発表しました。

今回の協働連続講座は、地域主権や地域自治が叫ばれている折、行政側も地域団体の自主的活動を促し、支援の一環として、事例を通じて学び合う場を提供するというものでした。地域福祉懇談会が生みの親となって「諏訪町ゆっと」が誕生したこと、その背景には地域のボランティア団体や福祉団体が自主的・継続的に懇談会を支えてきたことなど、「諏訪町ゆっと」の発足の経緯や見守りの特徴についてご説明いたしました。

当日は他の団体からも発表がありましたが、発表後のグループ討議や全体質問では「諏訪町ゆっと」の活動に質問が集中するなど、見守り活動に対する市民の関心の高さが窺われました。今回の場を経験して、ゆっと会員の方がやりがいを感じる事の出来るよう、活動の持つ意義等を具体的に訴えていくことの重要性を痛感いたしました。



【会則改訂、補助金決定のお知らせ】

報告1 これまでの「ゆっとボランティアの会」会則を改訂し、「諏訪町ゆっと」会則をいたしました。これは、「諏訪町ゆっと」の活動をさらに充実させるため実施したもので、これまで使用してきた「ゆっとボランティア」という名称は「ゆっと会員」に変更されました。

報告2 かねてより申請してまいりました、東村山市高齢者見守り事業補助金について、東村山市より決定の連絡がありました。これにより年間5万円の補助金が交付されます。最大2年間という限定の補助金ですが、広報紙の発行や交流会の実施等に役立てていきます。

